

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)8月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

自転車の盗難に注意

自転車の盗難は季節に関係なく年中頻繁に起こっているが、最近の傾向としては高価なマウンテンバイクなどが狙われているとの事。乗り逃げのための突発的盗難ではなく、ネットで中古品として売って現金を手に入れるのが目的とのこと。7月31日には、観光でリヨンを訪れていたオランダ人男性が、テロー広場に自転車を柱に施錠して停めその場を離れ、夜中広場に戻ってきたところ自転車が無くなっていた。そこに若者2人から声をかけられ、自転車を返して欲しいのなら現金100€を払えと脅された。2人は近くのATM機でオランダ人男性に現金を下ろさせ、その上銀行カードを奪って逃亡したとのこと。自転車の盗難対策としては、まず、建物の内部共有スペース(階段ホールなど)には駐輪しないこと。路上の方が人目についてまだ良い。錠はケーブル式のものにはワイヤーカッターで簡単に切れるため使用せず、ステンレスU字型か強化チェーンの錠を使用、前輪とフレームを地面に固定された構造物にロックすること。サドルも街中で頻繁に盗難にあうため、簡単に外せる場合は毎度取り外す。万が一盗まれた場合、警察に被害届を出し、ネットの売買サイトなどで自分の自転車が見つかった場合には、警察に通報すること。

スリの被害がこの夏減少傾向

リヨン市第3区では、6月のスリの被害が113件報告され、昨年の同時期148件に比べると24%減少しているとのこと。第3区にはPart-Dieu駅やPart-Dieuショッピングセンターがあるために人の行き来が多く、この被害減少は注目に値するとのこと。都市交通安全警察によると、最近のスリはグループ犯行が多く、1人が被害者の気を引いているうちに他の者がこっそりと盗み出すことが多く、また捕まっても法的に軽い処罰で済む未成年が犯人のことが多いとのこと。一番狙われているのはスマートフォンで、イヤホンをつけたスマートフォン携帯電話をポケットやカバンに入れている人で、犯人達はイヤホンのひもを引っ張って携帯電話を取り去るため気づきにくく、音楽が聞こえないと思った時には、影も形もなくなっているケースが何件も報告されている。

無料高速道路の路肩での新しい詐欺手口に注意

今月、イゼール県やローヌ県では新型手口の詐欺事件が数件報告されている。この手口は、環状線などの無料高速道路の路肩であたかも車が故障して困っているかのように車を停めている東欧系の人々が、助けるために車を寄せて来る人たちに、修理のための車を呼ぶお金を持っていないので、自分の持っている宝石などと引き換えに現金をくれないかと話を持ちかけるもの。警察によると現在のところ、報告があっただけで被害者は出ていないとのこと。

リヨン市消防署 緊急電話 18 / 112 (携帯電話)

ローヌ県内の消防署緊急電話コールセンター(CTA Codis)は、リヨン市第3区 Rabelais 通りの消防署内にある。この消防署には常時7人から9人の消防員が24時間体制で待機し、県民の非常事態に備えている。年間にかかる電話数は600,000件にも及び、毎年約100,000件の救助活動を行っているとの事。事故や暴行、火災などで消防署に通報する時は、誰しものが動揺して重要な情報を迅速に伝えることが容易ではないので、まずは電話する前に、場所をはっきりと伝えられるように、街や通りの名前などを確認しておくことが重要であるとのこと。

2. 邦人の被害事例

8月中には、日本人旅行者が観光中にパスポートや財布などの貴重品を盗まれる事件が連続した。いずれも、後になって無くなっていることに気づくケースで、いつどこで誰にとられたか良くわからないということだった。買い物や写真を撮るなど、何かに気を取られている際は、隙を狙っている者が周りにいるかもしれないと、常に注意したい。

3. 地区別 治安情報集計結果

2014年8月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	ISERE県	LOIRE県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)		1			1			1		1	1	4	1				10
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	1	4	4	1	2		3	12	1	17	1	4	1		1		52
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	5	5	6	4	1	1	2	4	4	5	1	1	4			1	44
知能犯 (詐欺、横領等)	0	2	1			1				1				1		1	7
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)	2		1				1	3	3	4	1	1	1		1		18
合計	8	12	12	5	4	2	6	20	8	28	4	10	7	1	2	2	131

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より抜粋）

① 窃盗犯罪事件

8月1日、Caluire et Cuire 市で、駐車してある車のタイヤとホイールを盗もうとしていた20歳代の男2人組が逮捕された。この男達は自分達がレンタルした車を傷つけてしまったために、それと取り換えようと盗んでいたらしい。

8月1日、リヨン市第4区 Canuts 通りにあるガソリンスタンドで、車にガソリンを満タンに入れた後、料金を支払わずに走り去った28歳の男が逮捕された。スタンドの職員が追いかけて、このエストニア出身の男が赤信号で止まっている時に捕まえようと車にしがみついたところ、男はそのまま走り続けて職員を振り払おうと危険な運転を続けて柱に衝突した。スタンドの職員は全治4日の怪我を負った。

8月1日、リヨン市第6区 Saxe 通りの建物から、空き巣に入って盗み出した宝石や香水などの入った袋をもって出てきた27歳の男が逮捕された。この男はすでに暴行事件で起訴猶予処分となっていた。

8月2日早朝に Brignais 市内の美容室に空き巣が入り、アラームが鳴ったために駆けつけた警察が20歳の若い男を逮捕した。店内にある30€を盗んだこの男は、この他にも7月22日のパン屋空き巣事件や自転車泥棒の犯人だったことが判明した。禁固9か月の有罪となった。

8月2日午後8時頃、Part-Dieu トラム駅で、若い女性のカバンの中を物色していた29歳のホームレス男が逮捕された。この男は、その他にも中国貨幣のはいった財布を所持していた。

8月3日午前3時半ごろ、Villeurbanne 市内のロム居住地区で5人のルーマニア出身者が逮捕された。この男達は、たばこ販売店に空き巣に入り、Givors 市でキャンピングカーを盗んだ容疑がある。

8月3日午後、リヨン市第2区 Grenette 通りにある銀行のATM機に、現金を詰ませる器材(キャッシュトラッピング)を取り付けて120€を手に入れていた21歳の男が逮捕された。この男が滞在中のホテルの部屋からは、他にも多くの器材などが押収された。

8月5日午前1時半頃、リヨン市第4区 Herbouville 通りの交通検問で尋問を拒絶した車が逃げようとしたがエンストし、車の運転手と助手席にいた2人の男達は走って逃亡した。後部座席にいた男が警察に捕まり、車内にあった金庫やコンピューター2台、そして車や事務所などの鍵や電話のバッテリーなどが没収された。

8月5日、Vénissieux 市の自動洗車機で車を洗っていた22歳の女性が、いきなり現れた男に銃で脅されて、手を縛られたまま車のトランクに閉じ込められた。その後男は女性をトランクから引き出して助手席に座らせ、少し離れたところまで車を走らせた後、女性を強引に降ろしてそのまま逃

亡した。女性からの通報で警察が全国に盗難車の情報を手配し、その後2日後にフラン南西部のバイヨンヌ市で男は逮捕された。

8月7日午前4時半頃、リヨン市第2区 Fromagerie 通りで、18歳から26歳の3人組の男達が暴力的に25歳男性の携帯電話を奪い取った。被害者が警察とともに犯人達を追いかけて、容疑者数人を含むグループを見つけたため警察が尋問し、このうちの1人は男性の携帯電話を所持していたが、他の若者は反抗して警察官を殺すと脅迫したため、身柄拘束となった。

8月9日午後、Villeurbanne 市内でパトロール中の警察が、駐車している車を開けて中にある物を盗んでいた16歳と17歳の少年2人を現行犯で逮捕した。

8月9日から10日にかけて、リヨン市西部郊外の町で2件の家宅侵入窃盗事件が連続発生した。いずれも、家の持ち主が屋内で就寝している間に何者かが家の中に侵入し、一件目に被害に遭った Saint-Genis-les-Ollières 市の一軒家では、一階部分にあったカバンや携帯電話、PCやクレジットカード、さらに車の鍵などが奪われ、犯人は外に停めてあった車に乗って逃亡した。家の被害者はまったく気づかずに、朝9時に起床して初めて被害を目の当たりにして通報。2件目は Messimy 市で、早朝6時頃に何者かが家の施錠を壊して屋内に侵入し、一件目と同様に車の鍵を奪って、外に停めてあったその車で逃走。その直後に数キロ離れたところで、数日前に同じようにイゼール県で盗まれた車が炎上しているのが発見された。警察では、留守にしていなくても、夜は特に入り口のドアなどをしっかり施錠するように注意する様呼びかけている。

8月11日、前日にリヨン市第1区 Tables Claudiennes 通りにあるアパートに侵入して家の鍵を盗みだした23歳の男は、この鍵を使って同じアパートに侵入し、コンピューターやスマートフォン、タブレットやカメラなどを盗んでいった。しかし、その後このコンピューターを使っているところを、被害者の友人がネット上GPSで追跡したため、犯人が逮捕された。

8月13日、リヨン市第1区地下鉄 Hôtel de Ville 駅で、14歳の少年から携帯電話を奪い取ろうとした15歳のルーマニア出身の少年が警察に逮捕された。この少年は警察に良く顔を知られているホームレス少年であったとのこと。

8月13日、リヨン市第4区 Cuire 通りにあるスーパーで、女性のカバンに手を入れている男を監視カメラで見かけた警備員が警察に通報し、男はすぐに逮捕された。監視カメラの録画映像からは、この男は他の人から盗んだ財布の中身を自分のポケットに入れた後、財布を商品棚に置いていたところが確認された。この男はその他にも他の男性から盗んだ家の鍵を所持しており、身分確認の際に、警察官はこの男が4月の盗難事件で指名手配されている男だということを確認した。

8月15日午前4時半頃、リヨン市第2区 Bayard 通りで駐車してある数台の車を物色していた24歳の男が現行犯で逮捕された。鍵のかかっていない車を見つけては、電話の充電コードやGPS、洗車コインなどを盗み取っていたとの事。

8月17日午後、観光でリヨンを訪れていたレバノン国の元将軍が、怪我の治療のために妻と救急病院の待合室で順番を待っていたところ、多額の現金や夫妻のパスポートの入った手提げかばんが目を見失った隙に無くなっていることに気付いた。病院の監視カメラの映像から、同じ時間に診察を待っていた男がそのかばんを持ち去っていることが判明。また、この男は診察のために自分の名前や住所を受付で登録していたために、翌日早朝、警察に自宅で逮捕された。

8月18日夜中、リヨン市第2区 Gailleton 広場で道に迷っていたスペイン人観光客の男女カップルが、道を尋ねようとして話しかけた男女から刃物で脅され、カバンを奪い取られた。

8月18日、Villeurbanne 市 Louis Guérin 通りにある人材派遣会社 Adecco に何者かが数人で非常口から侵入し、コンピューターやレストランチケットなどを盗んでいったことが判明した。この犯人達は、同じビル内にある違う会社にも侵入しようとした形跡があったが、侵入できずに逃亡した様子。

8月20日午前2時頃、Rillieux La Pape 市で、50歳代の女性2人組が自宅近くで2人組の男達に襲われ、ハンドバックなどを盗まれた。中には、現金約3000€と宝石が入っていたとの事で、女性達はリヨン市第6区にあるカジノから帰宅途中だった事もあり、後をつけられた可能性が高い。

8月21日午後7時頃、リヨン市第3区 Bazin 公園付近を歩いている女性が、自転車で接近してきた男にカバンを奪い取られて怪我を負った。それを目撃した男性が自転車の男をつかまえて警察に引き渡した。犯人は Vaux en Velin 市在住の46歳の男だった。

8月25日から26日にかけて、リヨン市第7区と9区に事務所を持つ会社に何者かが侵入し、両方の事務所から小切手や現金の入った金庫を盗み出して逃亡したとのこと。現在調査中。

8月26日、Villeurbanne 市 Château Gaillard 地区在住の69歳女性宅に、郵便配達人を名乗る2人組の男が訪れ、書留郵便があると騙して入り口扉を開けさせた後、銃で脅して屋内にはいり、男達は家の中を金目の物を探し回ってそのまま逃亡したとのこと。

8月26日午前3時半頃、Oullins 市 Emile Zola 通りにあるたばこ販売店に侵入しようとしていた5人組の窃盗犯が、現行犯で逮捕された。この店には侵入することができずと帰るところだったが、彼らの車の中には空き巣のためのバールなどの道具があり、警察で調査したところ、同夜リヨン市第8区のたばこ販売店の空き巣事件の同一犯グループだということが判明した。

8月28日、リヨン市第6区 Garibaldi 通り在住の80歳女性宅に、偽水道局職員が配管検査のためと偽って家の中に入りこみ、その後怪しい水道局職員は来なかったかと2人の偽警官がさらに訪れて屋内に侵入し、宝石や現金などを奪って逃亡した。

② 粗暴犯罪事件

8月1日午前4時頃、リヨン市第3区 Edouard Herriot 病院で、入院中の37歳の男が激しく怒りながら病院内の設備を破壊し、看護師に対して物を投げたりして暴れたために警察が逮捕した。破壊された器材の被害額はおよそ5000€とのこと。

8月1日午前2時頃、Villeurbanne 市内で前妻とその娘二人を、酒に酔ってライフル銃で殺すと脅迫した男が逮捕された。

8月2日午後6時半頃、リヨン市第8区で、近所付き合いの揉め事が原因で喧嘩していた2家族のうち、20歳から24歳の3人の息子達が、もう一方の家族の19歳と15歳の息子達を金槌や木の板などで殴り暴行したために逮捕された。

8月3日午前7時頃、リヨン市 Lafayette 通りでの交通検問の際、警官の指示に従わず逃走した車がそのまま Villeurbanne 市内で赤信号をいくつも無視しながらスピードを出して走り続け、パトカ

一が追跡した。この車は最後には標識石にぶつかり、運転手はそのまま逃走、助手席にいた男は逃げる途中、追いかけるパトカーの前で転び、パトカーと衝突して怪我を負い病院に運ばれた。

8月4日、少年院から逃亡してリヨン市内の母親宅に隠れていた15歳の少年が逮捕された。この少年は、母親宅に現れた警察官に対して反抗し、脅迫の言葉を言いながら警官の顔を殴って鼻骨折の怪我を負わせた。この少年は30件以上の盗難などの罪の前科を持っている。

8月5日午後10時半頃、リヨン市第7区 Montesquieu 通りで女性が運転していた車に何者かの車が衝突した。ところが、この車はすぐに逃走したために、女性は後を追いかけて追い詰めて運転手をつかまえた。酒に酔っていたこの46歳の男は無料で修理すると言ったが、警戒した女性はそのまま警察に届け出たところ、この男は運転免許証も自動車保険も持たず、4度の交通違反罪で有罪となっていることが判明したため、男は禁固6か月の有罪となった。

8月6日午前3時半頃、リヨン市第1区 Terreaux 広場で、ディスコから出てきた2人組の若者達が酒に酔った2人組の男に絡まれて激しい暴行を受け、若者の1人は鼻骨と眼窩骨折の被害をうけた。携帯電話にまつわる話が原因らしいが、男達の暴力があまりに非情だったため、懲役2年執行猶予1年の有罪となった。

8月6日、Villeurbanne 市 Emile Zola 通りにある Charpennes 郵便局で、23歳の男性職員が現金を引き出せなかったアフガニスタン人の男に刃物で刺されて重傷を負った。男は自分の物ではない書類をそのまま持って郵便局から立ち去ろうとしたために、職員が追いかけていったところ、大きな刃物でいきなり刺したとの事。

8月6日、イゼール県 Saint-Quentin-Fallavier 市にある拘置所に面会に訪れていた28歳の女性が、面会室で拘留中の内縁の夫からカミソリで顔を切られた。

8月8日午後、リヨン市第2区 Ferrandière 通りで、同棲している20歳の女性の腹部や顔を殴って地面に倒し、それからも足などを蹴りつけた疑いのある23歳の男が逮捕された。

8月10日午前6時頃、リヨン市第8区で27歳の女が46歳の男性の胸部に刃物を突き刺して重傷を負わせた。男性はすぐに病院に運ばれて命に別状はなかったが、刺した女は薬物やアルコールを摂取しており証言内容が明確でないため、どんな状況であったかは明らかになっていない。

8月10日、Neuville sur Saône 市内で30歳の男性が、何者かに拳銃で足を撃たれて重傷を負った。男性はすぐに救急病院に運ばれた。何かの理由で、男性と拳銃をもった顔見知りの2人の男達との間で争いあいが起こり、その後発砲事件が起きたようだが、はっきりしたことは分かっておらず、警察では現在監視カメラの映像や証言を集めて取り調べている。

8月11日夜明け頃、リヨン市第9区 Duchère 地区でブラッスリーレストランを経営する男性が、Ecully 市の自宅前で何人もの男達に大槌で頭を叩きのめされ、全治9日の縫合が必要となる怪我を負った。この男性が経営するブラッスリーレストランは先月破損行為被害を受けており、今回の暴行事件とも関係があるのではないかと警察は調べている。

8月12日、リヨン市第8区の中学生3人組が、同じ中学の15歳の少年とその友人をスタンガンで脅して携帯電話を奪い取った。一時間後にこの犯人のうち2人が、翌日残りの1人も警察に逮捕され、自宅からは犯行に使用したスタンガンが押収された。

8月13日、リヨン市第5区在住の72歳の女性が、28歳の息子から暴力を受け自宅を荒らされたと警察に通報し、息子が逮捕された。この養子縁組の息子は、窃盗や暴力事件など30件以上の前科があり、受刑中にイスラム教に改宗し、シリアに行つて自爆テロをするなど過激派の発言をして、母親も手に負えない状況になっているとの事だが、判事は養子としての繊細な状況も考慮した執行猶予つきの懲役を科した。

8月13日午後10時半頃、リヨン市第3区 Part-Dieu ショッピングセンターの中で10人程のグループの中の1人が、Vivie Merle 通り側の出口のガラスを激しく蹴破り損傷騒ぎを起こした。この男は破損のショックで怪我を負ったが、騒動を抑えようと駆けつけた5人の警備員達に対してグループの男達がレストランの椅子などを投げて暴行をはじめ、警備員1人が全治5日の怪我を負った。警察はこのグループ内の22歳と27歳の2人を逮捕したが、残りの男達は逃亡した。

8月16日午後7時頃、La Mulatière 市 Général de Gaulle 通りで市警察から尋問を受けた車が、指示に従わずにそのまま逃走し、車1台に衝突後パトカー2台にもぶつかつて、警官1人が全治3日の怪我を負った。運転手は免許を持っておらず、助手席の男は大麻葉を7g所持していた。

8月19日夜、Décines 市内で大型トラックの運転手が60歳代の夫婦に対して銃を向けた。運転手が優先道路を無視したために口論となり、トラックはジグザグ運転で夫婦の車を妨害した。携帯電話で動画をとりはじめた夫婦を停車させて、銃で脅して電話を取り上げようとしたとのこと。

8月20日午前8時頃、Villeurbanne 市内 Tonkin 地区で、銃を持った男が突然現れて、歩いていた女性に体当たりして襲い掛かった。女性が助けを求めて叫んだところ、この男は階段を走つて逃亡。その後200mほど先の路地で、この男は、車を運転していた別の女性を車から引っ張り出し、車の鍵を渡すように言ったが、女性が拒絶したために持っていた棒で女性の顔を酷くなぐり全治21日の怪我を負わせた。男はそのまま車に乗つて逃亡したが、その後イゼール県で警察官に対する暴行事件を起こしたために逮捕されたが、精神状態が不安定だったため、リヨン市郊外の精神病院に運ばれたとのこと

8月20日午後5時頃、Villeurbanne 市 Nicolas Garnier 通りで一台の車が別の車に衝突して、衝突された車の助手席に座っていた男性が重傷を負った。事故後、ぶつかった車を運転していた30歳の女が逃走したために、事故の目撃者が警察に通報。逃げた女は運転免許証を取ったことが無く、保険にも加入しておらず、おまけに同様の罪ですでに有罪判決を受けており電子監視ブレスレットを着けていた。

8月22日午後7時頃、リヨン市第7区 Pré-Gaudry 通りにあるアルバニア人達の不法滞在キャンプ内で、揉め事から1人のアルバニア人が腹部を刃物で刺されて怪我を負った。詳細は不明。

8月25日午後9時頃、Feyzin 市内で、住民の男性が建物の下で騒がしくしていた男達に静かにするよう注意しようとして降りて行ったところ、その場にいた男は銃をもっており、住民のアパートのバルコニーを目がけて発砲した。幸い怪我人はでなかったが、警察ではこの発砲した男を探している。

8月27日午前1時頃、リヨン市第8区 Albert Thomas 通りにあるファーストフード店で、無銭飲食しようとした2人組の男達を止めようとした23歳の警備員が、この男達から殴る蹴るの暴力を受け、鼻骨骨折で病院に運ばれた。

8月27日、Vaux en Velin 市でレーザーポインターライトを使っていたずらをし、TCL バスの運転手の目を狙って照射し、目の機能に障害を与えた22歳の男が逮捕された。目にレーザー照射を受けた運転手は病院に運ばれた。

8月30日、リヨン市第9区 La Douchère 安全監視優先地区ではこのところ警察のパトロールなどに対する反抗騒動が絶えないが、この日交通検問で、盗難車とみられる車に乗っていた3人の若者を警察が尋問のために止めようとしたところ、手袋をはめた運転手はそのままスピードを出して逃走。パトカーが追跡すると、同乗者の2人は車内にあった消火器を取り出して警察官に向かって消火剤を噴射し、消火剤が無くなると消火器をそのままパトカーに向かって投げつけた。盗難車とみられる車は逃走の後、壁や電信柱に追突し、3人組の若者のうち1人は逃亡、2人は逮捕された。

8月31日午前4時頃、リヨン市第3区 Guichard 広場で通行人を刃物と棒で脅迫していた25歳と19歳の2人組の若者たちが、パトロールしていた警察に逮捕された。

③ 凶悪犯罪事件

8月1日午前9時頃、Vaux en Velin 市 Eugène Hénaff 通りを横断していた72歳の男性が、スピードを出して走ってきたマスタード色のワゴンカーに撥ねられて死亡した。この車の運転手は止まらずにそのまま逃走したとのことで、警察では目撃者などの証言をもとに取り調べている。

8月4日午後7時頃、リヨン市第3区 François Villon 通りにある建物のごみ捨て場に放火した容疑のある24歳の男が逮捕された。煙が階段ホールに広がったが、怪我人などはなかった。

8月26日午前10時半頃、Vernaison 市内に在住の移動型精肉店舗を経営する夫婦宅に、突然3人組の覆面をした強盗が押し入った。犯人達は、自宅内にいた男性に銃をつきつけて金庫を出すように求め、金庫はないという男性を棒で何度も殴り打撲傷を負わせた。家の中をすべてひっくり返して金目の宝石やカメラなどを奪って3人組の犯人達は逃亡した。

8月30日正午頃、リヨン市第5区 Charcot 通りのバス停近くで、49歳の男性がいきなり大きな刃物を持った男に襲われて、胸腹部を10か所以上刺されて重傷を負った。逮捕された犯人の男はこの地域に住んでおり、犯人の動機などはっきりした状況はわかっていないが、精神的に不安定な状態だったためにすぐに精神病院に運ばれたとのこと。事件当時、男は電気ケーブルのついた箱の入った袋をもっていたために、警察は爆弾撤去班員までも送り込み大騒動となった。

8月31日午後、Givors 市中心街 Roger Salengro 通りの建物に在住の精肉店経営者宅に強盗が入った。鍵をかけていなかった入り口扉から侵入した覆面をした2人組の犯人は、屋内にいた妻と娘の女性2人を銃で脅し暴力を振るって閉じ込め、家の中を物色して、金庫の中にあった現金数千ユーロや貴金属などを奪って逃げて行ったとのこと。

④ 知能犯罪事件

8月、アン県 Bourg en Bresse 市在住の50歳の男が、ネット販売詐欺の共犯容疑者として逮捕された。この詐欺犯罪組織は、コートジヴォール国からネットの販売サイト leboncoin を利用しフランス国内で売りに出ている商品の購入手続きを行うが、実際の決済は行わず、Paypal というネット上の決済サービス会社であたかも支払いが終了したと思わせるために、送金終了通知の偽メールを作って送信し、その商品はフランス国内の代理送付先に送らせていた。この男はその代理送付先として商品を受け取って、そのままアフリカの犯罪組織まで転送していた。Bourg en Bresse 市警察ではすでに35件の被害届を登録している。男は詐欺組織から報酬をうけていないと供述してい

るが、コンピューターなどを無料で渡されているなど疑いがあるため、さらなる捜査が進められている。警察の話では、詐欺組織の犯人達は、出会いサイトなどでこうした仲介人を探して連絡をとっているらしい。

8月中旬に、出会い系サイトで知り合った女性からクレジットカード情報を盗み出し、高額の買い物をしてきた男が逮捕された。このリヨン市在住の23歳の男は、ネット上で女性と面会の約束をし、出会ってから女性を誘惑、隙を見てカバンの中からクレジットカードを取り出して買い物などをしてきた。リヨン市内で8人の女性から同様の被害届がでていますが、実際にはそれ以上の被害者がいると見られ、警察では現在取り調べを進めている。

⑤ その他

8月1日、Villeurbanne 市内 Emile Zola 通り 422 番地で、パトロール中の警官の姿を見て、集まっていた若者たちが一斉に立ち去ったため、警官がその近くにあった電気変圧盤の裏を調べたところ、大麻樹脂 900 g、大麻葉などが隠されており、押収された。

8月5日、リヨン市内 Université 橋辺りのローヌ河で50歳代の男性の死体が、そして8月6日には Pasteur 橋辺りで20歳代の男性の死体が発見された。現在のところ、遺体の身元は分かっておらず、自殺なのか事故なのか詳細は判明していない。

8月5日、Ecully 市のスーパー Carrefour で、携帯電話を使って女性のスカート中の映像を隠しとっていた30歳代の男が逮捕された。スーパーの警備員が監視カメラで怪しい行動をとっていた男をみつけて警察に通報するとともに、被害者にも通達して被害届を出させた。この男は、3年前から同様の犯罪を重ね、自宅には55件の同様の動画が保存してあったとのこと。

8月5日、6日と、リヨン市第9区安全監視優先地域の Duchère 地区で、3年前から存在する大麻樹脂と大麻葉の密売組織が摘発された。29歳の主犯格をトップに、21歳の若者を含む3人のディーラーなど、すでに警察に顔が知れているメンバーが逮捕され、100人以上の顧客リストや、大麻の植物18本、現金3680€も押収されたとのこと。

8月8日午後10時頃、Villeurbanne 市 Emile Zola 通りのベンチに座っていた56歳の男が、通りがかりの10代の子供たちに性器を見せていたため、通報を受けた警察にすぐに逮捕された。

8月9日真夜中、Rillieux La Pape 市内で行われていた交通検問で、アン県在住の32歳の男が警察の停止指示に従わずに Caluire 市まで逃走し、歩道に乗り上げて車が動かなくなると、今度は走って逃げて5メートルの高さの橋から河へ飛び込んだ。その後も警察が追跡したために、この男は逮捕されたが、逃走した原因は、有効な免許証を所持していなかったためだった。

8月10日早朝、リヨン市第8区で、ヘルメット無しでスクーターを運転していた20歳の若者を警察が停車させようとしたところ、従わずに歩道上を走行して逃走したが、その後、付近にあった車の下に隠れていたため逮捕された。

8月12日午後9時、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅構内でタバコを買おうとしていた男が偽札を使用していたところを現行犯で逮捕された。また、この男は警察官が現れた時に偽札を飲み込もうとし、それを止めさせようとした警察官に反抗して警察官を殴った。

8月12日、Villeurbanne市 Emile Zola 通りで大麻の密売をしていた22歳の男が逮捕された。この男は毎月500€の報酬と引き換えに大麻を売り捌いていたと自供し、自分では薬物を使用していないが、過去5か月で大麻樹脂20kgを売り捌いたと証言している。

8月19日、Vénissieux市在住の17歳の少女とオートピレネー地方に在住の14歳の少女が、インターネット上で、シリアのテロ戦場に出向いて自劇爆破テロになりたいという話し合いをしているのを、国内保安中央局が諜報活動でこの情報を入手し、この2人の少女はパリの保安中央局にて身柄拘束の上事情聴取を受けた。この2人は、6月にシリアに行き行方不明になっているパリ近郊の14歳の少女ともネット上で連絡をとっているとのこと。フランス内務省によると、少女100人以上を含む約800人近くの未成年や若者が、同じようにシリア内戦でのジハード「聖戦」に戦闘員として加わるために突然姿を消したりして関与しているとのこと。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

クロワルッス病院は、エボラ出血熱などの感染症医療機関。

リヨン市第4区にあるクロワルッス病院は、エボラ出血熱患者が出た場合、ローヌアルプ州、オーベルニュ州で唯一患者受け入れができる、感染症医療機関として指定されている。8月中旬までに感染疑惑のある患者が2名受け入れられ検査されたが、いずれも陰性だった。エボラ出血熱は、咳やくしゃみを介して人から人に感染するインフルエンザ等疾患とは異なり、簡単に伝播する病気ではないため、病気に関する知識を持ち、しっかりした対策を行う事で感染を防ぐことができる。厚生労働省のサイト http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ebola_qa.html

テットドール公園が強風のため閉鎖される。

8月11日リヨン市第6区にあるテットドール公園では、朝から毎時70kmを超える強風が吹いていたため、市警察が公園内をパトロールし、枝などの落下が始まっているのを確認した。このためにリヨン市安全対策室では、この日公園を、午後以降夜11時まで閉鎖した。また同じくこの日、リヨン市第9区では、建物横にあった大木が強風のため駐車場内に倒れ、車2台が被害をうけた。

シューマン橋の開通は、予定の9月から10月半ばに延期。

今年4月から開始された、リヨン市第4区と9区を繋ぐシューマン橋の工事は、本来9月に開通する予定だったが、7月の悪天候の雨や風のために工事が進まず、開通は1か月ほど遅れることとなった。ソーヌ河に新しく架かるこの橋は、車道4車線と歩道、自転車道がある大きな橋で、最終的なセメント塗りやアスファルト舗装工事などが残っていると事。

地下鉄B線で煙発生。

8月23日午後8時近く、リヨン市内の地下鉄B線 Jean Macé 駅を出発した車両が、Jean Jaurès 駅前で一時停止し、その直後花火のような爆音が生じて車両内に煙が立ち込めた。そのため150名程の乗客は非常通路を歩いて避難したとのこと。関係者の話によると、車両の電気回路がショートしたために起こった事故とのこと。排煙システムにより約五分後に煙は無くなり、幸いにも乗客はすべて避難して無事であり、怪我人もなかった。